



LIxil 母屋補強材A・B

(キューブポート・キューブポートプラス)



取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 母屋補強材以外の取付けは、各カーポート本体に同梱の取付説明書にしたがってください。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

<施工上のご注意>

注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ネジなどにゆりみやガタツキがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 柱・梁等の強度部材への必要以上の孔加工は強度低下の可能性が考えられますので、指定箇所以外を行わないでください。
- 母屋補強材を使用する場合は、必ずサポートと併用してください。

■梱包明細表

【1】母屋補強材Aセット

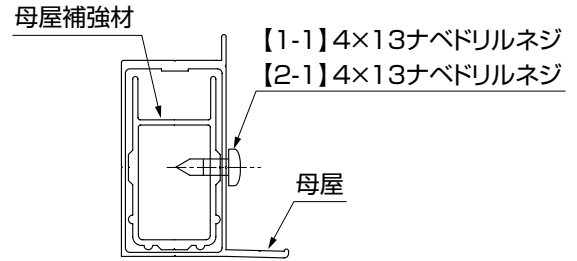
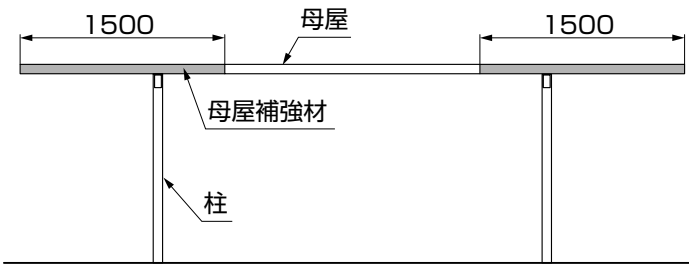
名称	略図	員数
母屋補強材A		2
【1-1】φ4×13ナベドリルネジ		9
取付説明書	—	1

【2】母屋補強材Bセット

名称	略図	員数
母屋補強材B		2
【2-1】φ4×13ナベドリルネジ		9
取付説明書	—	1

1. 基本寸法

※母屋補強材は、各母屋の両端から1500mmまでの範囲に取付けてください。



2. 取付方法

2-1 母屋補強材取付穴の加工

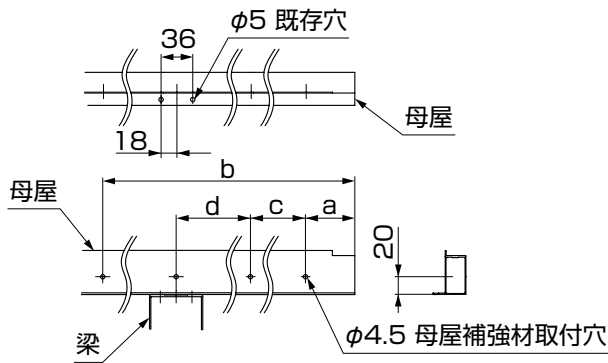


図2-1

2-2 母屋補強材の取付け

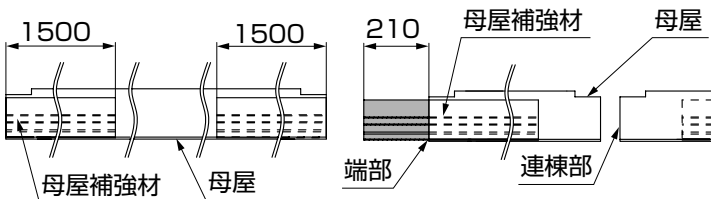


図2-2

図2-3

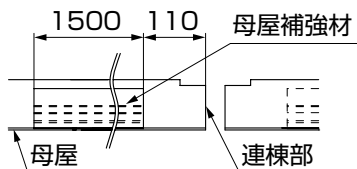


図2-4

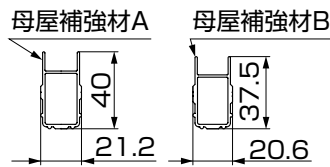


図2-5

表2-2 タイプ別対応表

母屋補強材	基本タイプ		延長タイプ	
	50型	57型	50型・14型	57型・14型
Aセット	○	—	○	○
Bセット	—	○	—	○

表2-1 母屋加工寸法

サイズ	寸法	a	b	c	d
50型		100	1400	435.5	435.5
57型		100	1400	537	537
14型 (端部側)		100	1210	370	370
縦連棟50型 (連棟側)		210	1510	380.5	380.5
縦連棟57型 (連棟側)		210	1510	482	482

①母屋の側面にφ4.5の母屋補強材取付用の穴加工をしてください。(図2-1・表2-1参照)

ポイント

●母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

(1) 50型単体・57型単体の場合

①母屋に母屋補強材が全部収まるまで差込み【1-1】または【2-1】で固定してください。(図2-2参照)

ポイント

●キューブポートレギュラーの場合は、母屋補強材を差込んだあとに端部キャップをはめ込んでから【1-1】または【2-1】で固定してください。

(2) 14型母屋への取付けの場合

①母屋補強材を210mmカットし、端部側から全部収まるまで差込み、【1-1】または【2-1】で固定してください。(図2-3参照)

(3) 14型を除く縦連棟の場合

①端部側は「50型・57型の場合」と同様に取付けてください。連棟部側は母屋補強材が全部収まるまで差込んだあと、さらに内側に110mm差込んでから【1-1】または【2-1】で固定してください。(図2-4参照)

ポイント

●母屋補強材AとBの違いに注意して取付けてください。(図2-5、表2-2参照)

取説コード

D378

JZZ610551C
200602A_1007
201210D_1007